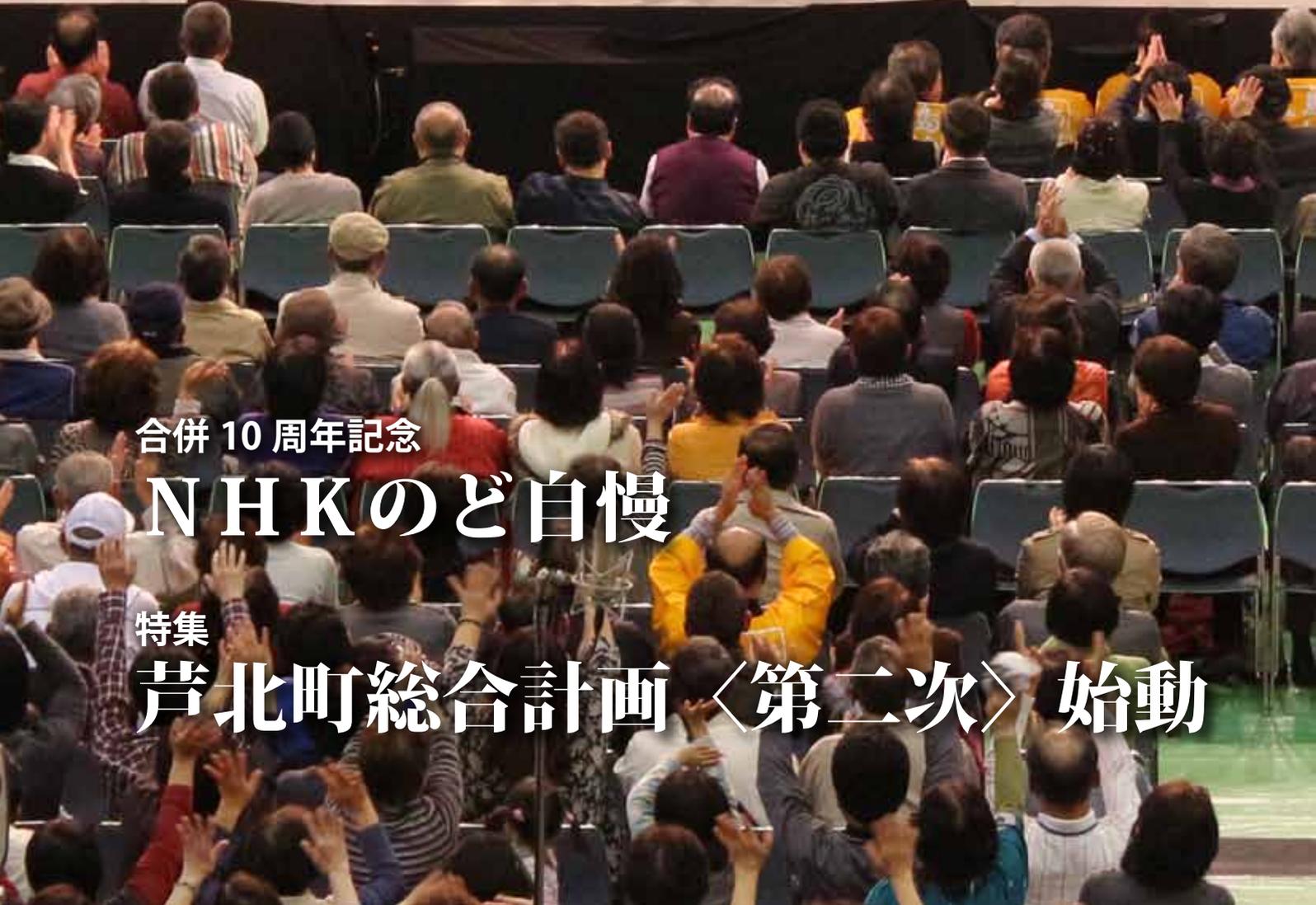


あした

4月号



合併 10 周年記念

NHKのど自慢

特集

芦北町総合計画〈第二次〉始動



写真左から竹崎町長、蒲島知事、ハヤカワスポーツの早川代表取締役会長

御立岬温泉塩 「岬の御塩」使用 HAYAPOW 発表



スポーツ時や夏の塩分補給にぜひご愛用ください。

「ハヤパワー」は岬の御塩、芦北産甘夏果汁にクエン酸をプラスしたスポーツタイプの塩あめで、ハヤカワスポーツの県内店舗や九州系列店、町内の物産館などで販売されています。ハヤカワスポーツでは今後、海外での販売も視野に検討しているということです。

発表会では竹崎町長とハヤカワスポーツの早川代表取締役会長が蒲島知事に商品の紹介をし、知事が試食しました。蒲島知事は「美味しいだけでなく、安心して食べられる。芦北地域の振興につながってほしい」と話しました。

芦北町特産の温泉塩「岬の御塩」を使用した、スポーツ向け塩あめ「HAYAPOW（ハヤパワー）」が熊本市のハヤカワ運動具店（ハヤカワスポーツ）との連携により完成し、県庁で3月25日、製品発表会が行われました。



今年2月には岬の御塩を使った2種類のラスクも登場



ハヤパワー（写真左）と御立岬オリジナル塩飴

広報あしきた 4月号

CONTENTS — もくじ —

- 2 もくじ
- 3 岬の御塩使用 HAYAPOW 発表
- 4 NHKのど自慢
- 6 芦北町総合計画〈第二次〉始動
- 10 平成27年度当初予算
- 12 介護保険制度が変わりました
- 13 芦北に残る文化遺産
/ 英国派遣事業参加者募集
- 14 平成27年度スポーツ・文化行事案内
- 15 イベントカレンダー
- 16 お知らせ
- 18 人事異動
- 19 水俣病犠牲者慰霊式 / GWのごみ収集
- 20 芦北町スポーツ賞・文化振興奨励賞
- 22 警察署 / 消防署
- 23 2015 うたせマラソン大会
- 24 まちのわだい
- 26 町立保育所の歴史に幕
/ みんなの広場 / 絵手紙
- 27 書・短歌 / 出生・おくやみ
- 28 カンボジアに5校目の学校贈呈へ
/ 星野富弘美術館だより

今月の表紙



合併10周年を記念して開催されたNHKのど自慢。芦北町では合併前も含め3度目の開催となりました。前日の予選で250人の中から見事本選に出場された皆さんおめでとうございます。出場者も観客も一体となって楽しんでいました。

参加チーム募集!

御立岬ビーチサッカーフェスティバル2015

■日時：5月23日（土）予選（一般の部）
24日（日）決勝
■会場：御立岬公園海水浴場特設コート

合併10周年記念特別ゲスト

元サッカー日本代表
元ビーチサッカー日本代表

前園 真聖さん



5/24日
来場!

■参加資格

- 【一般の部】
フレンドリークラス
社会人・高校生の心身ともに健康な男女
- 【小学生の部】
小学生の心身ともに健康な男女
- 【中学生の部】
中学生の心身ともに健康な男女
- 【女子の部】
中学生以上の心身ともに健康な女子

■申込締切 4月30日（木）

■参加費（1チーム）

一般の部 17,000円
女子の部 10,000円
小中学生の部 5,000円

※選手登録は各部門10人以内

※小中学生のチームは必ず成人の代表者を置いてください

*申込・問い合わせ先

ビーチサッカーフェスティバル実行委員会事務局（商工観光課内）

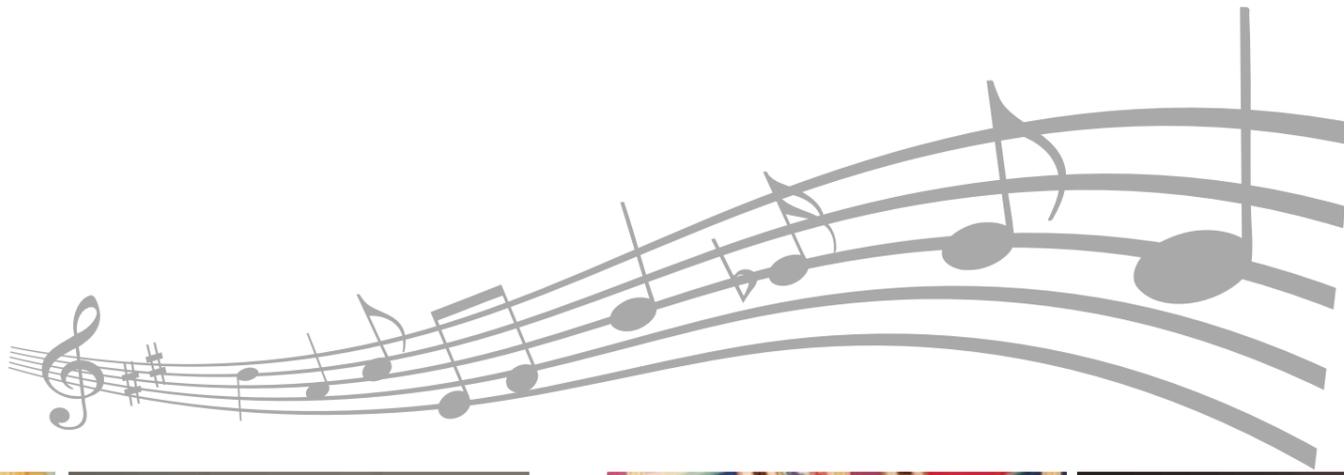
☎（82）2511（内線172）

人口のうごき (H27.4.1現在) ()内は前月比

人口	18,641人	(-79)
男	8,771人	(-39)
女	9,870人	(-40)
65歳以上	7,261人	(+3)
世帯数	7,452世帯	(-18)

芦北町合併 10 周年記念

NHKのど自慢



合併10周年を記念してNHKのど自慢が、3月29日にしるやまスカイドームで開催され、全国に生放送されました。会場には抽選で入場券が届いた観覧者1450人が訪れ、「明るく楽しく元気よく」歓声や拍手を送っていました。芦北町からも5人の町民が前日の予選会を見事通過。全国にその歌声を披露しました。



今週のチャンピオン
前田由起子さん（熊本市）



うたせ漁師の豊田勝八さん（計石東）



応援の皆さんも会場を盛り上げました



オープニングに先立ち
来場者にあいさつする竹崎町長



ゲスト歌手
五木ひろしさん



ゲスト歌手
島津亜矢さん



司会の小田切千アナウンサーと
堀田佳代さん（本町）



五木ひろしさんの曲を歌い五木さんと話
す大谷輝治さん（芦北）



1450人が来場した会場の様子



司会の小田切千アナウンサーにインタビ
ューを受ける山田良介さん（小田浦7）



漁師姿でオペラの曲を熱唱する
橘俊之さん（小田浦3）



開場を待つ長蛇の列

まちづくりの目標と将来像

個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できる町

まちづくりの基本理念のもと、町の将来像を「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できる町」とし、その実現に向けて、以下のまちづくりの目標を設定し、体系的な施策を展開します。

① 地域活力と雇用を生み出す産業づくり

○持続力のある農林漁業の振興

- ・農業生産組織の強化（担い手育成や組織化など）
- ・地産地消および農産物の付加価値を高める6次産業化の推進
- ・森林の公益的機能の保持と健全育成
- ・町産材の利用促進
- ・栽培型漁業の推進 など

○賑わいと活力に満ちた商工業の振興

- ・意欲ある人材の発掘と創業支援の推進
- ・個店の経営体質の強化と商店街の魅力づくりの推進
- ・設備投資や経営改善の支援
- ・企業誘致の推進 など

○地域が連携した魅力あふれる観光の振興

- ・地域特性を活かした観光地としての魅力づくり
- ・通年型観光および滞在型観光の推進
- ・うたせ船観光の支援 など



② 地域で守り育てるまちづくり

○生涯健やかで心豊かな暮らしづくり

- ・地域と行政が一体となった健康づくりの推進
- ・健診体制の強化
- ・医療・保健・福祉・介護の連携による地域包括ケアシステムの充実
- ・高齢者福祉および生きがいづくりの推進 など

○思いやりと生きがいのあるまちづくり

- ・障害者の社会参加の促進、生活支援サービス、差別の解消などの促進
- ・住民による地域福祉活動の積極的支援 など

○地域で支える子育て環境づくり

- ・保育サービスの充実
- ・子育てに伴う経済的支援の充実 など

郷土の豊かな自然と歴史・文化に誇りを抱き、自信を持って次代を生きる子どもたちに魅力あふれる郷土を受け継ぐことができるまちづくりを進めます。

このため、住民と行政がともに連携し、芦北町に住みたい、住み続けたいと感じられる個性の輝くまちづくりを推進します。また、地域に愛着と誇りを持ち活力みなぎる人材を育み、定住人口の確保と交流人口の増加を図ります。

すべては次代を担う
子どもたちのために
豊かさ誇りを未来へ

総合計画とは

総合計画とは、これから芦北町をどのような町にしていくかを示す10年間のまちづくりの計画です。町民と行政が協働で計画を策定し、共通の方向性・目標に向かって行動し、町民と一体となったまちづくりを進めるための、最も基本となる指針となります。まちづくりの基本理念と将来像を示した「基本構想」と分野ごとの具体的な施策を示した「基本計画」、年度ごとの主要事業を示した「実施計画」から構成されています。

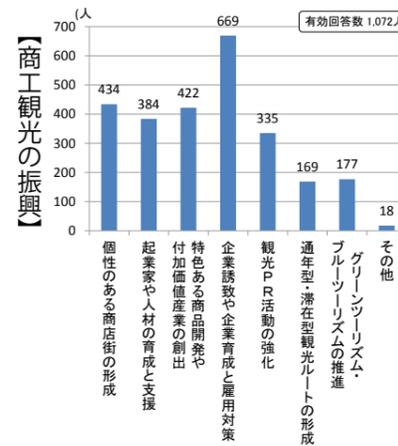
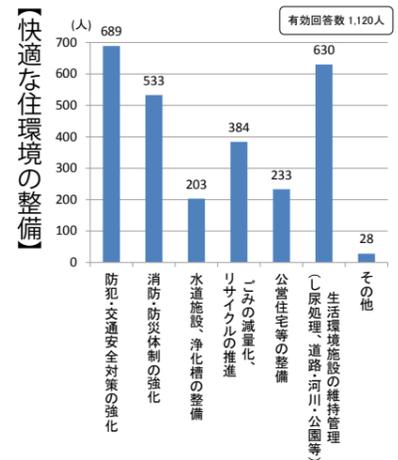
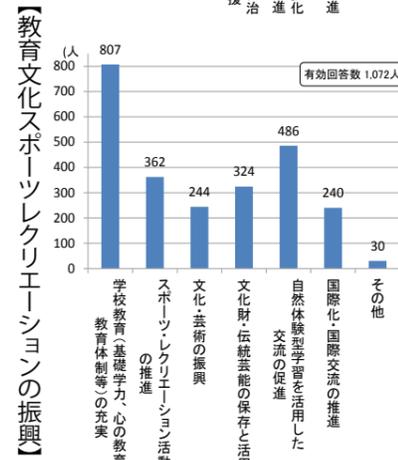
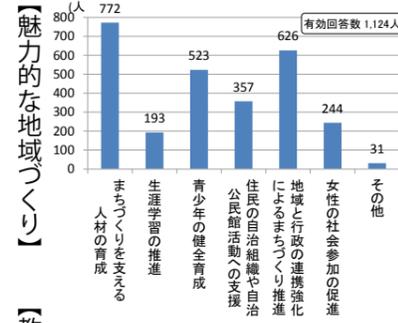
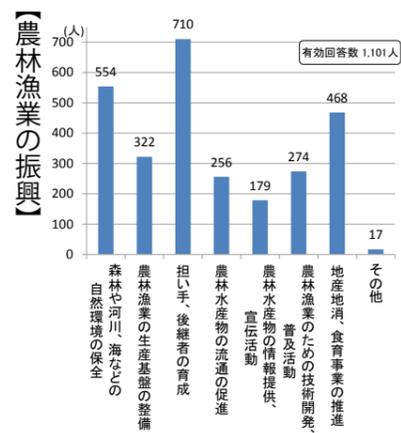
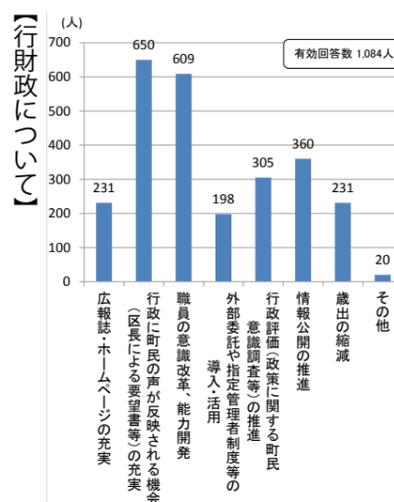
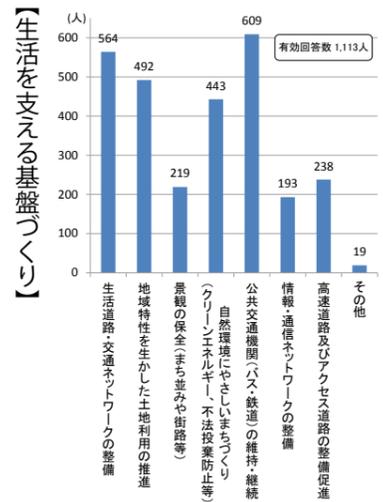
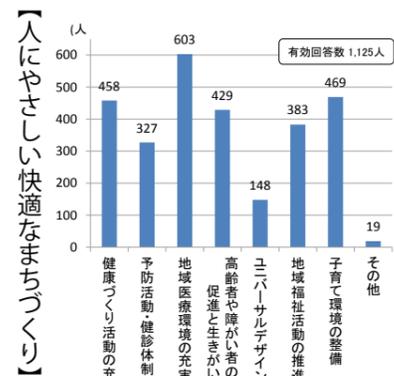
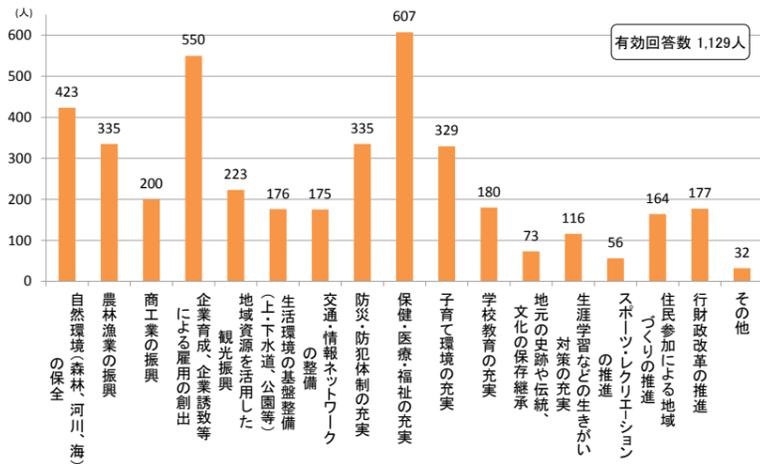
今回、芦北町総合計画（第一次）の計画期間が平成26年度で終了し、これまでの取り組みを踏まえ、新たに本町の将来像とそれを達成するために必要な施策の大綱を示し、長期的展望を持った計画的、効果的な行政運営を行うため、その指針となる芦北町総合計画（第二次）を策定しました。

芦北町総合計画〈第二次〉始動

住民アンケート調査の結果

芦北町総合計画の策定にあたっては、町内在住の20歳以上の住民から無作為に2,000人を抽出し、アンケート調査を実施しました。(回答数1,178票、回収率58.9%)

【今後10年間で特に力をいれるべきことについて】



③ 郷土の未来を育む人づくり

- 「知・徳・体」のバランスのとれた教育の推進
 - ・基礎学力の向上
 - ・心の教育の充実 など
- 郷土愛に満ちた心身ともに豊かな人づくり
 - ・組織および指導者の育成・強化による競技スポーツの振興
 - ・スポーツレクリエーションの推進
 - ・住民ニーズにあった生涯学習の推進 など
- 文化・芸術・国際交流の推進
 - ・町民の文化活動に対する意識の高揚の促進
 - ・芦北町誌の編さん
 - ・民間団体の国際交流活動の支援
 - ・国際理解教育の推進 など



④ 暮らしを支える基盤づくり

- 環境と防災に配慮した社会基盤づくり
 - ・自然と開発のバランスのとれた土地利用の推進
 - ・交通・情報通信ネットワークの整備
 - ・公共交通機関の維持・確保
 - ・消防・防災体制の強化
 - ・交通安全対策の充実
 - ・防犯意識の啓発と対策 など
- 快適で住みよい暮らしづくり
 - ・上下水道の整備
 - ・ごみの減量化の推進
 - ・環境保全活動の推進
 - ・公営住宅の整備 など



⑤ 住民と行政の協働のまちづくり

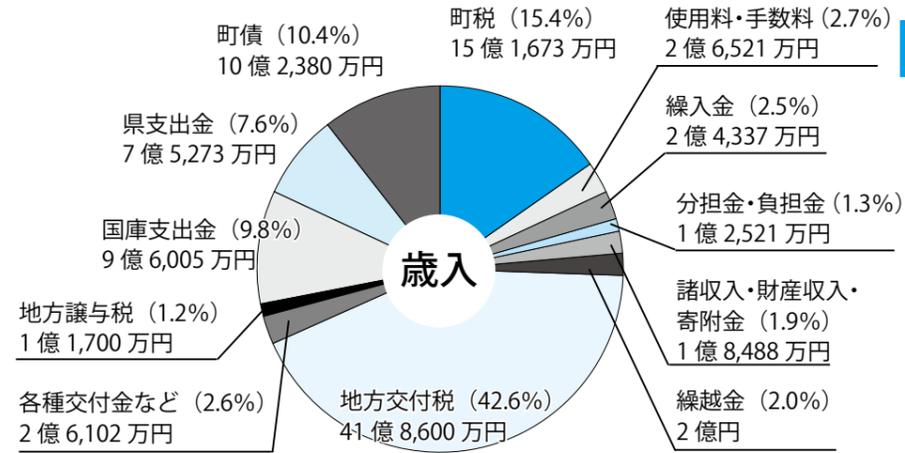
- みんなで支え合う地域づくりの推進
 - ・まちづくり人材の育成
 - ・住民の主体的活動の推進
 - ・男女共同参画の推進 など
- 健全で効率的な行・財政の運営
 - ・時代の変化に対応した行政運営体制の構築
 - ・行政組織の強化と人材の育成
 - ・計画的な施設整備等の推進
 - ・広域連携の推進
 - ・広報活動の推進 など



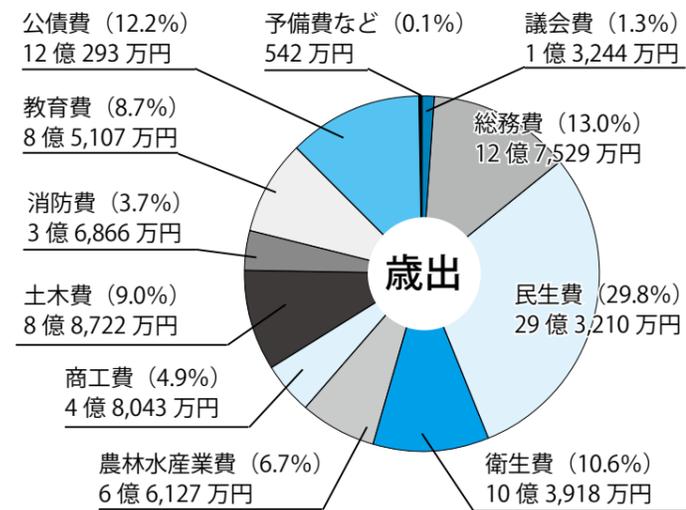
平成27年度当初予算 総額 166億6,660万円

一般会計

予算総額 **98億3,600万円**
前年比1億100万円減△1.0%



地方交付税は合併特例分の段階的縮減などにより1億7千万円の減（前年比3.9%減）、国庫支出金は保育関係国庫負担金や町道射場芦北線改良に伴う交付金の増により1億4,982万円の増（前年比18.5%増）を見込んでいます。



土木費が町道射場芦北線改良事業の実施などにより1億1,770万円の増（前年比15.3%増）、商工費が海浜総合公園施設長寿化事業の実施などにより4,818万円の増（前年比11.1%増）となりましたが、歳出全体では、職員給与や公債費の減により1億100万円（▲1.0%）の減少となりました。

※予算額の1万円未満の金額は四捨五入しています

一般会計とは、町の行政運営に必要な経費を計上した会計のことです。予算額は平成26年度と比較して職員給与や公債費の減により1億100万円（▲1.0%）減少しました。

町民の皆さんの安全・安心を守り、住みやすい北町をつくるための新年度予算がスタートしました。町にはどのような財源があり、どのように使われるのかを説明します。

町の予算（一般会計のみ）を町民1人当たりに置き換えると	7,344円
町民1人当たりの歳出予算額は52万4千円（1人当たりの税負担（8万802円）の約6.5倍の行政サービスが提供されています）	524,000円
議会経費や予備費など	7,344円
魅力的なまちづくりや効率的な行政経営	67,940円
高齢者・障害者・子育て	156,204円
ごみ処理や病気の予防	55,361円
農林水産業の振興	35,228円
商工業や観光の振興	25,594円
道路や河川の整備	47,265円
消防活動や防災	19,640円
小・中学校や図書館、生涯学習活動	45,340円
借入金の返済	64,084円

平成27年度当初予算 主な取り組み

地域活力と雇用を生み出す産業づくり

農林水産業や商工業、観光の振興を図ります。

- 中山間地域の農地の利用集積を図り、地域農業の維持に向けた町独自の支援を実施
- 耕作放棄地対策や就農支援空き家調査事業を実施
- 水産物加工所と直売所の建設に着手
- プレミアム付き商品券発行補助金の拡大
- 小売店舗などの支援制度を拡充
- 御立岬温泉塩を活用した新たな商品化

地域で守り育てるまちづくり

町民の健康づくりや福祉、子育て支援の充実を図ります。

- あしきた健康体操の全町的普及を推進
- 戦没者の追悼と平和を祈念する碑を建設
- 子育て世帯支援の更なる充実
- 子どもの医療費は引き続き18歳まで無料

郷土の未来を育む人づくり

教育環境の整備をはじめ、文化・スポーツの振興、国際交流を推進します。

- 小学校の主要教科にデジタル教科書を導入
- 学校体育館の吊り天井の耐震化を実施
- カンボジアおよび英国派遣事業の実施
- 全国大会出場者への助成など、文化・スポーツの振興を推進

暮らしを支える基盤づくり

安全・安心で暮らしやすい環境をつくるため、道路整備や交通手段の確保、災害に強いまちづくりに取り組みます。

- 佐敷駅周辺の渋滞緩和と安全性確保のため、町道射場芦北線の改良に着手
- ふれあいツクールバスにより交通弱者の移動手段を確保
- 防火水槽や消防ポンプを整備

住民と行政の協働のまちづくり

住民と行政が協働で行うまちづくりとそれを支える人材の育成、効率的な行政運営を行います。

- 町有地の宅地分譲や貸し付けの実施
- まちづくり支援事業などで、地域の主体的活動をサポート
- 合併10周年記念事業の実施

個性輝き活力と魅力にあふれた安全・安心の町を実現するために

第二次芦北町総合計画に掲げる「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実現できる町」の実現に主眼をおいた予算編成を行います。

行政コストの削減と効率化を図りながら、芦北町に住みたい、住み続けたいと感じられる個性の輝くまちづくりに必要な事業を積極的に実施していきます。

特別会計（水道会計含む）

予算総額 **68億3,060万円**

会計名	27年度予算	前年度比
特別会計		
国民健康保険事業	37億2,420万円	4.3%
介護保険事業	21億2,510万円	2.0%
簡易水道事業	8,350万円	14.1%
農業集落排水事業	2億2,030万円	▲6.3%
生活排水処理事業	5,600万円	0.0%
町有温泉事業	1億310万円	6.6%
奨学資金貸付事業	3,590万円	13.2%
後期高齢者医療事業	2億6,070万円	▲1.9%
公営企業会計		
水道事業	2億2,180万円	▲27.4%
合計	68億3,060万円	1.7%

特別会計と水道事業会計（公営企業）の総予算額は68億3,060万円で平成26年度と比較して1億1,352万円増加しました。

主な要因は国民健康保険事業特別会計の制度改正に伴う保険財政共同安定化事業拠出金（県内市町村国保の医療費負担を平準化する事業）の増によるものです。

4月1日から 介護保険制度が変わりました

1 「要支援」の訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）は地域支援事業へ移行

要支援1および要支援2の人の予防給付のうち訪問介護と通所介護は、地域支援事業の「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行しました。利用者が受けるサービスの質、内容は従来と変わりません。

3 特別養護老人ホームへの新規入所は要介護3以上の人が対象

原則、要介護3～5の人に入所が限られ、要介護1・2の人は新規には入所が出来ません。※すでに入所している、要介護1・2の人はそのまま入所が出来ます。また、やむを得ない事情（認知症など）で在宅生活が著しく困難な場合については入所が認められる場合があります。

**5 介護保険料が変更
低所得者は保険料の軽減拡大**

第6期介護保険事業計画に基づき、介護保険料が変更となりました。また所得に応じた負担の公平を図るため、これまでの6段階から9段階に変更しました。さらに低所得者の保険料については軽減が強化されます。

6 施設利用者の食費や居住費の負担限度額要件が変更

※8月から
低所得の施設利用者のうち、配偶者が住民税課税者である場合、または預貯金が一定額（単身世帯の場合1千万円、夫婦2千万円）を超える場合は対象とはなりません。

**2 「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」を創設
食の自立支援事業なども継続**

移行した訪問介護・通所介護に加え、これまで一次予防・二次予防事業で実施していた「食の自立支援事業」「筋力向上トレーニング事業」「閉じこもり予防通所支援事業」「転倒骨折予防事業」も引き続き行います。

4 所得が一定以上ある場合、利用者の自己負担が1割から2割に

※8月から
2割負担の対象は、本人の合計所得が160万円以上（年金収入で単身280万円以上）の人となります。（※その他、同一世帯の要件などがあります。）要介護認定を受けた人全員に、利用者負担割合が記載された「介護保険負担割合証」が発行されます。

7 介護サービスの利用負担金額が変更

介護報酬の改定により、平成27年4月から、介護給付サービスを利用したときに支払う金額が変更されました。

47 野坂の浦

芦北町指定史跡
昭和53年1月30日指定
芦北町指定名勝
昭和60年4月15日指定

今回紹介するのは、野坂の浦です。芦北を代表する景勝地であり、古くは遠く都まで知られた地名です。現在、町指定文化財として史跡（歴史上重要な事件や遺跡があった場所）と名勝（絶景や庭園など風景が優れている場所）の二つの指定があるのは、旧田浦町で田浦海岸一帯を史跡に、旧芦北町では芦北海岸一帯を名勝に指定したためです。

実は、野坂の浦の位置については諸説あり、現在も結論は出ていません。佐敷説と田浦説のほかに、水俣説や八代市敷川内説などが加わり、歴史資料だけでなく地名や地形、風向き、伝説などを根拠に激しく論争をした時期もありました。ただ、今の国土地理院の地図では、佐敷湾を野坂の浦と表記しているようです。

かつて徳富蘇峰が「絶対にここだと主張するよりも芦北の海岸一帯だと論じたらどうだろうか。私も芦北の出身だから、その方が楽しいし、古代のことで、その程度に霞んでもいいのではあるまいか。」と言ったように、曖昧なままでも、いろいろな人が芦北の古

代史に思いをはせることができるので、ロマンがあって面白いのではないだろうか。

野坂の浦は、奈良時代に編集された現存最古の歌集『万葉集』をはじめ、多くの歌人に詠まれています。特に『万葉集』にある長田王の歌「芦北の野坂の浦ゆ船出して水島に行かむ波立つなゆめ」は代表的なもので、計石と田浦町の御番所鼻にある歌碑に刻まれています。この歌は、都の役人であった長田王が、九州に派遣された時の歌で「芦北の野坂の浦から、船で水島へ向かうので、波よ立たないでくれ」という意味です。



*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87) 1171 (内線145)

イギリス（英国）で異文化を体験しよう 英国派遣事業参加者募集（中学生・高校生）



▲英国の町並み

芦北町と芦北町国際交流協会では、新しい価値観を創造する力を養い、国際感覚豊かな人材の育成を図ることを目的に、英国派遣事業の参加者を募集します。

▼日程 7月20日(月)～27日(月) 6泊8日(予定)

- ▼内容 英国の伝統、文化、歴史への理解を深めるとともに、異文化体験・交流を実施します。
- ①英国の子どもたちとの交流(学校訪問、交流会、野外活動など)
- ②英国生活体験(ホームステイ)
- ③英会話体験
- ④英国歴史文化体験学習(大英博物館、ロンドン塔、バッキンガム宮殿、エリザベスタワーなど)



▼派遣人数 8人程度
▼費用負担 旅行費用の4分の1 (10万3千円程度)
※金額は変更になる場合があります。保険・パスポート取得費用など、個人にかかるものについては自己負担となります。

▼応募要件 芦北町在住の中学生および高校生でこれまでに本事業で派遣されたことのない心身ともに健康な人
※応募多数の場合は抽選

▼申込期限 5月8日(金)

▼応募方法
①町内学校通学者 各学校へお申し込みください。
②町外学校通学者 芦北町国際交流協会事務局に直接お申し込みください。

※申込用紙は芦北町国際交流協会ホームページからダウンロードできます。
*申込・問い合わせ先
芦北町国際交流協会事務局
(芦北町役場企画財政課内)
☎(82) 2511 (内線252)

日	月	火	水	木	金	土
芦北町イベントカレンダー 4月16日～5月23日 <small>※日程は変更になることがあります □内は関連ページ</small>				4月 16 でこぼんキッズ (保健センター)	17 3歳児健診 (保健センター)	18
19 町民講座開講式 (社教センター)	20	21 新米パバママ教室 (保健センター)	22	23 湯浦諏訪神社例大祭 でこぼんキッズ (保健センター)	24 3～4カ月児健診 (保健センター)	25
26 あしきたDEマル シェ(女島活力推進 センター) □P26	27 佐敷諏訪神社例大祭 ～28日 離乳食教室 (保健センター)	28 九州高校選抜相撲選 手権大会 10:30～ 赤ちゃん土俵入り 14:00～ (佐敷諏訪神社)	29 昭和の日	30 県少年親善相撲大会 9:00～ (佐敷諏訪神社)	5月 1 水俣病犠牲者慰霊式 (エコパーク水俣) □P19	2 7～8カ月児健診 (保健センター)
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 でこぼんキッズ (保健センター)	8 年金出張相談 (役場3階会議室) 9:30～15:00 ※要予約 □まちだより	9
10	11 星野富弘美術館「花 のきれいな人なんか …展」～7月12日 □P28 新米パバママ教室 (保健センター)	12	13	14 でこぼんキッズ (保健センター)	15	16
17	18 3～4カ月児健診 (保健センター)	19	20	21 行政相談(役場研修室) 10:00～15:00 町民体育祭 男女グ ラウンド・ゴルフ大 会(岩崎グラウンド) でこぼんキッズ (保健センター)	22 行政相談 (活性化センター) 10:00～15:00 1歳6カ月健診 (保健センター)	23 御立岬ビーチサッ カーフェスティバル (御立岬海水浴場) ～24日 □P2

田浦子育て支援センター 行事予定 (4/16～5/23)

4月20日(月)～24日(金)こいのぼりづくり
 4月30日(木)身体測定・誕生会
 5月7・8日(木・金)母の日のプレゼントづくり
 5月12日(火)春の遠足(芦北海浜総合公園)
 5月20日(水)クッキング(おにぎりづくり)

※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。
 一時保育も行っています。

▶センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
 午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分

*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
 ☎(87)0034

図書館休館日

【社教センター】
 4月29日(水・祝)、5月3日(日)～6日(水)

【田浦図書室】
 4月27日(月)、5月11日(月)

*イベントについての問い合わせ先

芦北町役場 ☎(82)2511
 教育委員会 ☎(87)1171
 保健センター ☎(86)0200
 社会教育センター ☎(82)2213

平成27年度 スポーツ・文化等行事のご案内

*問い合わせ先
 生涯学習課 ☎(87)1171

月	日	曜日	事業内容	場所
4	19	日	町民講座開講式	社会教育センター
5	12	火	星野富弘美術館「花のきれいな人なんか…展」	星野富弘美術館
	21	木	町民体育祭 男・女グラウンド・ゴルフ大会	岩崎グラウンド
6	2	火	平成生き生き大学開校式	社会教育センター
	7	日	第43回水俣市・葦北郡各町対抗陸上競技大会 一日一汗運動	エコパーク水俣陸上競技場 各自治公民館
	27・28	土・日	藤井瑞希杯バドミントン大会	町民総合センター・交流センター
	28	日	町民体育祭 卓球大会	地域活性化センター
7	5	日	町民体育祭 バドミントン大会 町民体育祭 クレー射撃大会 町民体育祭 ボウリング大会	町民総合センター 湯浦温泉射撃場 芦北ボウル
	14	火	星野富弘美術館「生きているから～星野富弘と新立航大と清田功～展」	星野富弘美術館
	19	日	町民体育祭 ソフトボール大会(予備26日)	地域間交流スポーツグラウンド
	23	木	童話発表会(町内小学校)	社会教育センター
	27	月	スポーツフェスタ(新体力テスト)	町民総合センター
8	2	日	町民体育祭 水泳大会	町営温泉プール
	5	水	子ども体験学習(塩づくり体験・料理教室・海浜公園)	御立岬・鶴木山
	9	日	町民体育祭 軟式野球大会(予備16日)	地域間交流スポーツグラウンド ・湯浦運動公園
	19	水	子ども体験学習(福岡市防災センター・福岡市博物館・大刀洗平和記念館)	福岡県福岡市ほか
	21	金	水俣・芦北地区人権教育研究大会	水俣市文化会館
	23	日	町民体育祭 ビーチボールバレー大会	町民総合センター
	30	日	町民体育祭 男・女バレーボール大会	町民総合センター
9	12・13	土・日	第70回熊本県民体育祭	熊本市
	13	日	町民体育祭 ゴルフ大会	八代ゴルフ倶楽部
	15	火	星野富弘美術館「秋の企画展」(調整中)	星野富弘美術館
	20	日	町民体育祭 男・女ゲートボール大会	大野農村公園
10	28	月	第18回佐敷城跡観月会	佐敷城跡
	11	日	町民体育祭 陸上競技大会(予備12日)	地域間交流スポーツグラウンド
11	31	土	文化祭(伝統芸能発表、文化協会発表、作品展示)	町民総合センター
	1	日	文化講演会(調整中)	町民総合センター
	10	火	星野富弘美術館「ことばと心のへぼ将棋～星野富弘と館内端～展」	星野富弘美術館
12	13	日	第45回芦北駅伝大会	女島活力推進センター
1	10	日	第66回熊日三太郎駅伝競走大会 成人式	水俣市～芦北町 町民総合センター
	17	日	第12回芦北町音楽祭	町民総合センター
	24	日	第33回熊日郡市対抗女子駅伝大会	熊本市
2	9	火	星野富弘美術館「星野富弘の詩画と第9回詩画公募入賞作品展」	星野富弘美術館
	14	日	第42回郡市対抗熊日駅伝大会	天草市～熊本市
3	29	月	平成生き生き大学開校式	社会教育センター
	6	日	スポーツ・文化奨励賞交付式	町民総合センター
	20	日	町民講座閉講式	社会教育センター

※日程は変更になることがあります。

福祉 面会交流を支援します

「面会交流」とは夫婦が離婚した後、子どもと別れて暮らしているお父さんやお母さんが定期的に子どもと会って話をしたり、一緒に遊んだりして交流することをいいます。

- 支援内容 支援員が次のような支援を行います。
①子どもと同居している親、別居している親と必ず事前相談を実施
②面会交流についての支援の内容、方法、日程、実施頻度など、当事者合意の下、面会交流支援計画書を作成
③支援計画に基づき、面会交流の当日に子どもの引き取り、面会交流の相手方に引き渡したり、面会交流の場に付き添うなどの援助を行う

- 支援対象者 以下の要件を満たしている人
①概ね 15 歳未満の子との面会交流を希望する別居している親、または子どもと別居している親との面会交流を希望する同居している親。
②面会交流の取り決めを行っていて、本事業の支援を受けることについて当事者間で合意していること。
③子どもと同居している親については、県内に住所を有すること
*問い合わせ先 (熊本県事業受託者)
社会福祉法人 熊本県母子寡婦福祉連合会
熊本県母子家庭等就業・自立支援センター
☎096(351)8777

福祉 要約筆記者養成講座

- 期間 5月14日～10月29日
毎週木曜日(全21回)
(8月13日～27日は休み)
■場所 熊本県身体障がい者センター
■対象 高校卒業以上の学力を有する人
■定員 ①手書き ②パソコン 各20人(先着順)
■費用 3,000円程度(テキスト代)
■申込期限 4月30日(木)
*申込・問い合わせ先
熊本県聴覚障害者情報提供センター
☎096(383)5595
※要約筆記者とは
聴覚障害者、とりわけ中途失聴者、難聴者のかたの社会参加を支援するため、話し言葉を文字に変えることでコミュニケーションの支援を行います。

農地 農地パトロールを実施します! (農地利用状況調査)

耕作放棄地の把握、農地の違反転用防止、意欲ある農業者への農地集積の促進を図るために町内の全農地を対象に農地パトロール(農地利用状況調査)を1年を通して定期的に行います。パトロール中、農地内に立ち入ることもありますがご理解とご協力をお願いします。

*問い合わせ先
農業委員会 ☎(82)2511(内線261)

農地 農地の売買・貸し借り、農地転用などの申請期限および現地調査日

Table with 2 rows of dates and days of the week for application deadlines and field investigations.

*問い合わせ先
農業委員会 ☎(82)2511(内線261)

除草 自治会(行政区など)による県管理道路の除草を支援します

芦北地域振興局では、県管理道路の除草作業を自治会に委託する事業を行います。自治会が除草作業を希望する県管理道路区間について県と契約を結び、「公役(くやく)」により除草作業を実施します。県は除草面積に応じて委託料を支払い自治会を支援します。



- 対象事業 県管理道路沿いの草刈り作業
■対象団体 自治会(行政区などを含む)
■申込期限 原則5月29日(金)
※草刈機の使用について安全講習会を開催します。(開催日時は別途お知らせします)
*申込・問い合わせ先
熊本県県南広域本部 芦北地域振興局
土木部 維持管理調整課
☎(82)2530

農業 農業・農村の共同活動を支援 一多面的機能支払事業一

農業・農村の多面的機能の維持、発揮を図るため、水路の草刈りや泥上げ、農道の草刈りなどの共同活動を支援します。

- 活動内容 農業者などによる組織を設立し、法面や水路、農道などの簡易な保全管理を行う。保全管理の計画作成などを行う。
■交付単価 田(3千円/10アール)
畑(2千円/10アール)
■対象農地 農業振興地域の農用地区域の農地
※詳しい内容についてはお問い合わせください。
*問い合わせ先
農林水産課 農政係
☎(82)2511(内線271)

農業 農地集積支援事業

農地の有効活用、遊休農地の抑制を目的に農地の集積を図るため、農地の受け手に対して、交付金を交付します。詳しくはお問い合わせください。

- 交付単価 (10アールあたり)
3年以上～5年未満の賃借契約 1万円
5年以上の賃借契約 2万円
所有権移転 2万円
■交付要件 農業委員会総会での承認
*問い合わせ先
農林水産課 農政係
☎(82)2511(内線271)

農業 耕作放棄地解消事業

国、県、町では、耕作放棄地解消の取り組みに対して、再生作業の経費を一部支援する事業を行っています。詳細については、再生作業を行う前に問い合わせください。

- 交付単価(10アール当たり)
県事業 2万円～3万円
町事業 1万円～2万円
国事業 5万円または事業費の2分の1(重機を使用する場合)
*問い合わせ先
農林水産課 農政係
☎(82)2511(内線271)

募集 「ふるさとづくり基金運用事業」 助成募集

町内で活動している団体や、今から継続的にまちづくりを続けていきたいと考えている人で、一定の条件を満たすと町の助成が受けられます。

- 対象事業には、スポーツ・文化振興・国際交流・研修助成および地域間交流事業などがあります。
■申請期限 5月14日(木)
*申込・問い合わせ先
企画財政課 まちづくり推進係
☎(82)2511(内線252)

募集 平成28年歌会始のお題と詠進要領

- お題「人」
「人」の文字が詠み込まれていればよく「人材」「若人」のような熟語にしても差し支えありません。
■詠進要領 ①お題を詠み込んだ自作の短歌で1人1首とし未発表のものに限ります。②用紙は習字用の半紙を使い、毛筆で自書してください。半紙は横長に使い右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、職業を縦書きで書いてください。③病気や身体障害のため毛筆で自書できないときは、点字、代筆、パソコンなどでも詠進できます。(自書できない理由を別紙に書いて添えてください)詳しくは宮内庁ホームページをご覧ください。
■申込期限 9月30日(水) ※当日消印有効
■あて先 〒100-8111(住所不要)
宮内庁 「詠進歌」
*問い合わせ先
宮内庁式部職あてに郵便番号、住所、氏名を書き返信用切手を貼った封筒を添え、9月20日(日)までに問い合わせください。

九州電力からのお願い

金物ハンガーは屋内に取り込みを

カラスが電柱に金属製の材料で巣をつくと停電することがあります。金属製のハンガーなどを屋外の物干竿に放置するとカラスが巣の材料に使用しますので、部屋の中への取り込みをお願いします。

- *問い合わせ先
九州電力(株)八代営業所
☎0120(986)606

平成27年度 町職員人事異動(4月1日付け)

※()内は前職

【課長級】
 ▼総務課長 山元信作(建設課長) ▼田浦基幹支所長 溝下博行(田浦基幹支所課長補佐) ▼企画財政課長 柳田豊彦(農林水産課長) ▼税務課長 楠原清照(住民生活課長) ▼住民生活課長 一丸喜八郎(会計管理者兼会計室長) ▼農林水産課長 藤井哲郎(生涯学習課長) ▼建設課長 下田研(議会事務局長) ▼会計管理者兼会計室長 井手口浩一(税務課長補佐) ▼上下水道課長 坂道征一(上下水道課長補佐) ▼教育課長 大塚雄二(住民生活課長補佐) ▼生涯学習課長 江上 繁(税務課長) ▼議会事務局長 岩間睦生(水保芦北広域行政事務組合派遣) ▼農業委員会事務局長 告畑一彦(農林水産課長補佐) ▼水保芦北広域行政事務組合派遣 藤井優一(住民生活課長補佐兼健康づくり推進室長)

【課長補佐級】
 ▼田浦基幹支所課長補佐 嶋崎雄二(生涯学習課社会教育センター所長兼公民館佐敷分館長) ▼企画財政課長補佐 川尾敏浩(福祉課長補佐) ▼企画財政課長補佐兼政策推進室長 松本俊造(商工観光課主幹兼商工係長) ▼税務課長補佐 元山俊治(田浦基幹支所主幹兼支所係長) ▼住民生活課長補佐 宮石幸人(生涯学習課長補佐) ▼住民生活課長補佐兼健康づくり推進室長 田中公広(住民生活課主幹兼健康づくり推進室医療年金係長) ▼福祉課長補佐 櫻井優一(企画財政課長補佐兼政策推進室長) ▼農林水産課長補佐 福井成昭(企画

財政課長補佐) ▼商工観光課温泉観光センター所長兼湯浦出張所長 鶴岡幸一(福祉課主幹兼児童家庭福祉係長) ▼上下水道課長補佐 上野孝司(建設課主幹兼住宅係長) ▼教育課長補佐 白坂達也(教育課主幹兼学校教育係長) ▼生涯学習課長補佐 金 辰信(生涯学習課主幹兼文化振興係長) ▼生涯学習課社会教育センター所長兼公民館佐敷分館長 中田祐一(教育課長補佐) ▼農林水産課主幹兼振興係長 平田秀臣(農林水産課振興係長) ▼建設課主幹兼建築係長 濱本弘幸(建設課建築係長) ▼会計室主幹兼会計係長 溝保圭一(会計室会計係長)

【係長級】
 ▼総務課 ▼管財係長 岩間賢二(商工観光課温泉観光センター所長兼湯浦出張所長) ▼情報管理係長 竹下淳也(福祉課高齢者福祉係長) ▼大野出張所長 成松佐代美(議会事務局書記) ▼吉尾出張所長 倉永やす子(教育課学校給食センター参事) ▼田浦基幹支所 ▼係長 中山伸広(建設課計画係参事) ▼住民生活課 ▼総合窓口係長 大田修久(総合窓口係参事) ▼介護保険係長 濱田清彦(介護保険係参事) ▼清掃センター所長 田中元城(水保芦北広域行政事務組合派遣・参事) ▼健康づくり推進室医療年金係長 中村圭一郎(税務課住民税係参事) ▼福祉課 ▼児童家庭福祉係長 上野晃祐(住民生活課清掃センター所長) ▼高齢者福祉係長 山下博章(総務課管財係長)

【参事級】
 ▼田浦基幹支所 福井るみ子(福祉課田浦保育所保育士) ▼税務課 ▼住民税係 荒川郁郎(住民生活課古尾温泉診療所参事) ▼渡邊純子(福祉課障害者福祉係参事) ▼固定資産税係 宮石夏樹(企画財政課政策推進係参事) ▼住民生活課 ▼総合窓口係 坂本まり子(湯浦保育所保育士) ▼田浦基幹支所参事) ▼介護保険係 宮村誠子(田浦保育所保育士) ▼健康づくり推進室医療年金係 内田裕美(田浦保育所保育士) ▼福祉課 児童家庭福祉係 中村一美(大野保育所保育士) ▼障害者福祉係 寺川陽子(大野保育所保育士) ▼商工観光課 ▼観光係 堀口貴生(住民生活課健康づくり推進室医療年金係参事) ▼上下水道課 ▼下水道係 山口寛夫(住民生活課環境対策係参事)

【その他の職】
 ▼総務課 ▼総務係 池田高太(農林水産課林務水産係) ▼秘書広報係 杉村真美(住民生活課総合窓口係) ▼矢野雄大(商工観光課観光係) ▼総務課付 黒田美保子(商工観光課観光係) ▼一田由佳(教育課学校教育係) ▼企画財政課 ▼財政係 小川宏達(熊本県派遣) ▼政策推進室政策推進係 橋本仁志(総務課総務係) ▼税務課 ▼固定資産税係 宮本武蔵(福祉課児童家庭福祉係) ▼住民生活課 ▼環境対策係 下田洋介(生涯学習課温泉プール) ▼清掃センター(生涯学習課温泉プール) ▼清掃センター(生涯学習課温泉プール) ▼健康づくり推進室医療課秘書広報係) ▼健康づくり推進室医療年金係 鎌地めぐみ(総務課秘書広報係) ▼健康づくり推進室古尾温泉診療所 上野雄也(税務課住民税係) ▼福祉課 ▼社会福祉係 丁優紀子(住民生活課総合窓口係) ▼商工観光課 ▼観光係 告下祐樹(上下水道課水道係) ▼芦北浜総合公園 漆下浩文(住民生活課清掃センター) ▼農林水産課 ▼農政係 一田貴臣(生涯学習課体育振興係) ▼中田勝史(上下水道課下水道係) ▼林務水産係 笠本尚志(建設課計画係) ▼振興係 江口佑人(建設課土木係) ▼建設課 ▼計画係 金 千秋(税務課固定資産税係) ▼土木係 橋口貴文(農林水

右面下から続き

産課振興係) ▼維持係 松永光則(商工観光課芦北浜総合公園) ▼上下水道課 ▼水道係 宮島智博(住民生活課清掃センター) ▼下水道係 大矢聡(生涯学習課町民総合センター) ▼教育課 ▼学校給食センター 田畑照代(田浦保育所) 福島康子(田浦保育所) ▼生涯学習課 ▼文化振興係 松崎和樹(総務課付) 前川明宏(住民生活課健康づくり推進室医療年金係) ▼町民総合センター 宮本直弥(上下水道課下水道係) ▼熊本県派遣 松下祐樹(企画財政課まちづくり推進係)

【新規採用】
 企画財政課まちづくり推進係 蓑田真平
 住民生活課総合窓口係 漆前杏奈
 建設課計画係 山田正大
 生涯学習課体育振興係 山下香織
 生涯学習課温泉プール 本田貴紀

【3月31日付け退職】
 早川純一(総務課長)
 野口博司(田浦基幹支所長)
 寺川健一(企画財政課長)
 坂口俊司(上下水道課長)
 鶴山秀生(農業委員会事務局局長)
 本山 昭(教育課長)
 岩間千代美(吉尾出張所長)
 浦川諒子(田浦保育所長)
 宮森千鶴子(湯浦保育所長)
 大塚肇子(大野保育所長)
 黒田順子(住民生活課総合窓口係長)
 山田蓉子(住民生活課介護保険係長)
 宮口毅彦(清掃センター)
 草野靖子(湯浦保育所)

水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の犠牲になって亡くなられた全ての生命に慰霊の祈りをささげ、環境再生・創造を誓うため慰霊式を開催します。
 ■日時 5月1日(金)午後1時30分～
 ■場所 エコパーク水俣親水緑地「水俣病慰霊の碑」前
 ※会場まで送迎バスを運行します。
 *問い合わせ先
 水俣市環境モデル都市推進課
 ☎(61)1612



水俣病慰霊の碑に奉納する名簿を受け付けます(平成28年奉納分)

水俣市立水俣病資料館では慰霊式で慰霊碑に奉納する名簿への申込みを受け付けています。
 ■対象 水俣病認定患者で亡くなっている人
 ■個人情報 氏名など個人情報は非公開です。

※平成28年の慰霊式での奉納となります。
 ※申込みには印鑑が必要です。
 *問い合わせ先
 水俣市立水俣病資料館
 ☎(62)2621

◎ゴールデンウィーク期間中のごみ収集・持込日程

月日	収集		持込受付	
	芦北地区	田浦地区	清掃センター	田浦事業所
4月29日(水)	休み	通常収集	休み	休み
4月30日(木)	通常収集	通常収集	通常どおり	通常どおり
5月1日(金)	通常収集	通常収集	通常どおり	休み
5月2日(土)	休み	休み	休み	休み
5月3日(日)	休み	休み	休み	休み
5月4日(月)	休み	通常収集	休み	休み
5月5日(火)	休み	通常収集	休み	休み
5月6日(水)	通常収集	通常収集	休み	休み
5月7日(木)～	通常収集	通常収集	通常どおり	通常どおり

※通常収集とは「ごみ収集日程表」どおりの収集です。
 ※左記期日以外のごみの持込は通常どおりです。
 ◎清掃センター
 平日 午後1時～4時
 ◎清掃センター田浦事業所
 火・木曜日 午前9時～正午
 ※祝祭日を除く
 *問い合わせ先
 清掃センター
 ☎(86)0277



▶スポーツ賞を受賞した皆さん

平成 26 年度スポーツ賞・文化振興奨励賞

平成 26 年にスポーツや文化活動で活躍した町民をたたえるため、3月14日、しろやまスカイドームで芦北町スポーツ賞・芦北町文化振興奨励賞の交付式が行われました。スポーツ賞は48人、文化振興奨励賞は17人が受賞。受賞者には盾と奨励金が贈られまし

た。受賞者は次のとおりです。(敬称略) ※カッコ内の住所、所属などは各大会での受賞時のものです。(対象：平成26年1月1日～12月31日までの受賞者)

スポーツ賞

【金賞】(全国大会)

- ▼第14回全日本少年少女空手道選手権大会 5年個人組手 優勝||金つばさ(花岡西、佐敷小5年)、1年個人組手 3位||橋本悠雅(大岩一、佐敷小1年) ▼第27回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会 4位||矢野 明(宮崎)、▼第69回国民体育大会 カヌーカヤック・フォア 4位||谷口美貴(湯浦北、水俣高3年)、竹下夢乃(計石東、水俣高3年) ▼平成26年度全国高等学校総合体育大会空手道競技個人組手 5位||金みなみ(花岡西、芦北高3年)、▼第22回全国中学生空手道選手権大会 個人組手 5位||田村 響(花岡西、佐敷中2年)、▼第23回全国小学生バドミントン選手権大会 ダブルス 5位||益田萌寧(田浦3、田浦小6年) ▼平成26年度全国高等学校総合体育大会相撲競技 5位||福田亮太(計石西、文徳高1年) ▼第47回全国高等学校サッカー選手権大会 5位||岩本孝信(新町、熊本高専八代4年)

【銀賞】(九州大会)

- ▼平成26年度第28回かさぎ杯ジュニア新体操競技会 団体演技 2位 ||岩永周大(本町、佐敷中3年) 今村亮介(本町、同1年)、岩永果大(本町、同1年)、大室裕慈(向町、同1年)、川口大輔(花岡西、同1年)、木下大雅(花岡東、同1年)、邑上颯(芦北、同1年)、米良睦希(計石西、同1年) ▼第43回全九州高等学校選抜バドミントン競技大会 女子団体 2位||向 琴音(小田浦2、八代白百合高2年) ▼第40回全九州空手道選手権大会 個人組手 2位 ||田村 嵐(花岡西、芦北高3年)、団体組手 2位||坂田宏樹(花岡西、芦北町教委) ▼第26回全国高校選抜ボート大会九州地区予選 クォドルプル 2位||塩田義峰(新町、熊本学園大附属高2年) ▼平成26年度九州中学校総合体育大会空手道競技 個人組手 3位||鬼塚大輝(宮崎、湯浦中3年) ▼第31回全九州小学生バドミントン選手権大会 ダブルス 3位||上門汰輝(小田浦3、田浦小4年) ▼第1回全九州少年少女空手道選手権大会 5年個人組手 3位 ||宮島碧大(豊岡、内野小5年)

← 左上へ

【銅賞】(県大会)

- ▼平成26年度熊本県高等学校テニス新人大会 団体戦 優勝||山本いりあ(道川内東、九州学院高2年) ▼平成26年度熊本県中学校総合体育大会 陸上競技1500m 優勝||井川龍人(花岡西、佐敷中2年) ▼第40回熊日学童オリンピック相撲大会 個人戦 優勝||林田大和(芦北、佐敷小2年) ▼平成26年度熊本県中学生空手道新人大会 団体戦 優勝||一村晃輝(市野瀬、佐敷中2年)、岩下照英(向町、同2年) ▼平成26年度鹿児島県硬式野球大会 優勝||寺川翔飛(宮崎、湯浦中2年) ▼第33回熊本県少年少女空手道選手権大会 個人形 優勝||山尾悠真(花岡北、佐敷小4年)、個人組手 優勝||橋本将人(大岩一、佐敷小3年) ▼平成26年度熊本県高等学校総合体育大会空手道競技 団体戦 優勝||佐藤雄介(道川内西、文徳高1年) 平成26年度熊本県中学校総合体育大会空手道競技 個人戦 優勝||山本真帆(花岡西、佐敷中3年) ▼第44回九州アマチュアゴルフ選手権熊本県大会 優勝||間柄両真(湯浦南、湯浦中3年)、第69回熊本県民体育祭空手道競技 団体戦 優勝||林田 勇(湯浦北)、綱田裕佑(高

文化振興奨励賞

【金賞】(全国大会)

- ▼第65回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技 最優秀賞||川口凌真(乙千屋、芦北高3年)、優秀賞 ||山田正大(湯南団地、同3年) ▼第7回クムホ・アジアナ杯話してみよう韓国語高校生大会(韓国語弁論大会) 最優秀賞||蓮田なつみ(平生、長崎県立対馬高3年)

【銀賞】(九州大会)

- ▼第69回九州合唱コンクール 銅賞 ||前島龍太郎(芦北、水俣高3年)、國武宗一朗(豊岡、同3年)、向野帆南美(湯南団地、同2年)、田畑美奈(小田浦5、同2年)、嶋崎いくみ(湯浦北、同2年)、黒田瑞穂(高岡北、同2年) 川添和莉(白木、同2年)、内山美優(湯浦北、同2年)、藤井悠弥花(平生、同1年) ▼第30回読売女流書法展 女流読売大賞 ||竹崎麗子(乙千屋)

【銅賞】(県大会)

- ▼第49回県発明工夫展(凶工) 県賞 ||井川遥香(湯南団地、湯浦小6年)、寺川ひかり(宮崎、湯浦小

受賞者の皆さま
おめでとうございます。



▶文化振興奨励賞を受賞した皆さん

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110



特殊詐欺の被害防止！

県内において特殊詐欺被害が増加し、警察官の名前をかたった電話なども確認されています。被害を防止するためには、「家族の絆」を醸成する。

■融資保証金詐欺

融資保証金などの名目で、現金を犯人の口座に振り込ませるなどしてだまし取るもの。

■還付金等詐欺

市役所職員、税務署職員などを名乗り電話をかけ、税金、医療費などの還付に必要な手続きを装って、被害者にATMを操作させ、口座間送金により現金をだまし取るもの。

■ギャンブル必勝法詐欺

パチンコの必勝法、ロト6の当選番号教えるなどと言って現金をだまし取るもの。

■社債、株などの購入や名義貸しを持ち掛ける詐欺

被害者にパンフレットを送りつけ、社債、株などの購入名義貸しを依頼し「名義貸しは法律違反になる。」などと言って裁判費用名目などで現金をだまし取るもの。

詐欺の手口

■オレオレ詐欺

主に電話で、親族、警察官、弁護士などになりすまして、交通事故や勤務先での不祥事などを名目に、現金を犯人の口座に振り込ませてだまし取るもの。



新1年生に黄色い帽子など贈呈

芦北地区交通安全協会(尾上春樹会長)が4月に小学校に入学する児童に黄色い帽子を、中学校に入学する生徒に蛍光反射タスキを贈りました。この取り組みは交通事故防止のため、同協会が長年続けてきており、3月12日に各小中学校の校長に手渡されました。



火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731



地震への備え

東日本大震災の発生から4年以上の月日が経過しました。近い将来、国内では首都直下型地震や南海トラフ地震などの巨大地震の発生も予測されています。地震は、いつどこで発生するかわかりません。明日は我が身という気持ちで、日頃から備えをしておきましょう。

■身の安全の備え

- ・家具やテレビ、冷蔵庫などを固定し、転倒、落下、移動防止措置をしておく。
- ・けがの防止や避難に支障のないよう家具の配置をしておく。
- ・食器棚のガラスや窓ガラスにはフィルムなどを貼り、ガラス飛散防止措置をしておく。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。

■確かな行動の備え

- ・家族で避難経路や避難場所を確認しておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認方法や集合場所を決めておく。



■地震発生時への備え

- ・火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水の汲み置きをしておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・非常用品は置く場所を決めて準備しておく。

過去最多2253人がエントリー 2015 芦北うたせマラソン大会



約900人の選手が一齐にスタート(ハーフマラソン)

大会を支えるボランティア



▲観光うたせ船組合や町食生活改善推進員などによるエビ飯づくり



▲春の芦北を駆け抜ける参加者たち▲



▲商工会、民生児童委員、女島開発委員会、地区住民などがランナーへ給水



▲豪華賞品多数の抽選会



▲走り終えた後のエビ飯は格別！

芦北の春の風物詩、芦北うたせマラソン大会が3月22日に芦北海浜総合公園をスタート、ゴールに行われました。31回目となる今大会には県内外から過去最高の2253人がエントリー。参加者は春の暖かな日差しの中、不知火海の潮風を受けながら、ハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロのコースごとに風光明媚(めいび)なコースを駆け抜けました。レース後には、うたせマラソン名物のエビ飯が振る舞われ、参加者は芦北の味に舌鼓を打っていました。表彰式では各部門男女別の上位入賞者や最高年齢者、遠方からの参加者などへ表彰が行われました。表彰式後のお楽しみ抽選会は、芦北町合併10周年記念ということで、例年よりグレードアップした景品が準備され、当選番号が読み上げられるたびに参加者は一喜一憂していました。



大会を盛り上げました♪



力強く約束組手を披露。審判も生徒が行いました

3年間の成果を発表

佐敷中で3月3日に体育の空手の授業が最終日を迎え、発表会が行われました。3年生の発表会はトーナメント方式で団体戦の試合を開催。チームごとに、決まった手順に従って技を掛け合う「約束組手」を披露し、姿勢や気合い、力強さなどを競いました。

3年間、授業で空手を習った生徒は、「めりはり、気迫が出せるようになった。空手以外のスポーツでも学んだことを生かしたい」と話しました。

芦北町では全ての中学校の武道の授業に空手を取り入れており、礼節を重んじる態度などを養成しています。

講座で学んだ成果を披露

平成26年度町民講座閉講式が、3月21日に町社会教育センターで行われました。平成26年度は25講座をのべ335人が受講しました。

式では受講生を代表し、論語教室を5年間受講した山下生吾さん(白岩)が講師への謝辞を述べました。また、受講生の年齢構成や男女比などから独自に分析を行い、「芦北町の文化度が高いと評価できる」と話しました。

式の後には、各講座ごとに発表会が行われ、舞踊講座を受講した町AL Tのジュリア・グリーンさんが着物姿で舞踊を披露すると、ひときわ大きな拍手が送られました。



舞踊を披露するAL Tのジュリアさん(写真左)



発足式であいさつする中原豊徳会長

「芦北高校を支援する会」発足

3月21日に町内旅館で「芦北高校を支援する会」の発足式が行われました。葦北郡内唯一の高校である同校は、創立93年で、これまで約1万5千人の卒業生を輩出してきましたが、近年、生徒数は減少傾向にあります。

支援する会は卒業生や農協、商工会、漁協、森林組合、建設業組合などで構成され、会長に就任した中原豊徳さんは「芦北高校が『学びたい、学ばせたい高校』として地域の人材育成の中核であるために地域が一体となって発展を支援することが必要」と話しました。

今後は、支援する会が芦北高校と地域をつなぐパイプ役として情報交換会などを行っていく予定です。



3月24日

卒業生1人の吉尾小卒業式で答辞を述べる畑野伶司くん

まちかどスナップ



3月1日

佐敷宿交流館榎屋のひな祭りで餅づくり



パネルディスカッションで意見を交わす計石住民

計石地域づくりミニフォーラム

計石地区で地域づくりを考えるフォーラムが計石公民館で3月7日に行われ、地区住民など約50人が参加しました。同地区では地域づくりコーディネーターの今泉重敏氏を講師に、昨年夏から講演会や座談会を開いており、この日は経過報告やパネルディスカッションが行われました。報告のなかでは、「日本一美しいごみステーションの創造」など区内での実際の取り組みを交えて紹介しました。そのほか、計石弁の掛け合いを地区の女性2人が披露するなど会場は笑いどきと活気に包まれていました。

旧海浦小の鐘の音、幼稚園で再び

芦北幼稚園で3月3日、旧海浦小から引き継がれた鐘が披露され、およそ40年ぶりに鐘の音色が響きました。この鐘は同小の昭和27年度卒業生により寄贈されたもので、チャイムが導入された昭和53年ごろまで授業の開始や終了の合図に鳴らされていたようです。同小の閉校時に当時区長だった垣添武明さんが倉庫で見つけ、幼稚園に引き継いでいました。

この日は、昭和53年まで同小に勤務し、当時鐘を鳴らす担当をしていた近くの楠本信子さんと園児2人が鐘を鳴らしました。この日以降は午前9時と午後2時に園児が交代で復活した鐘を鳴らしています。



復活した鐘を鳴らす園児とそれを見つめる楠本さん
鐘をつり下げる架台は宮下幸雄さんが無償で制作



消防点検で団長答辞を述べる松崎政司消防団長

415人の団員が集結—町消防点検

芦北町消防点検が3月15日、しろやまスカイドームで行われました。雨天のため、屋内での実施となりましたが芦北町の全10分団415人が集結し、通常点検による規律競技が行われました。また、保育園児と幼稚園児も大きな声ときびきびとした動きで通常点検を披露し、会場からは大きな拍手が贈られました。

【規律競技】

- 1位 機動分団
- 2位 第7分団(丸山、米田、高岡、古石、豊岡、大川内)
- 3位 第6分団(宮崎、湯浦、女島)

地域で見守り安心・安全な町に

町では地域住民が主体となった見守り活動を行うことで、誰もが地域で安全に安心して暮らせる社会の実現を目指し「芦北町見守りネットワーク」の構築を図っています。今回その一つとして3月26日、芦北町役場で事業に賛同された民間5事業者の代表と竹崎町長が見守りに関する協定書に署名し締結しました。この協定は業務活動の中で新聞がたまっているなどの異変に気付いた場合、関係機関に連絡してもらうものです。この日協定を結んだのは県建設業協会芦北支部、生協くまもと(水俣市)、熊本日日新聞の湯浦販売センター、佐敷販売店、田浦・白石販売センターです。



見守りに関する協定に署名・押印する代表者の皆さん

お誕生おめでとう

H27. 3. 1～3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 9 件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
飯村 吏琥愛	2. 23	女	吏毅哉	花岡西
水野 樹	2. 23	男	聖士	花岡東
百崎 俊平	3. 2	男	志伸	田浦町 1
山口 由珠	3. 3	女	秀宣	丸山
村口 美唯	3. 6	女	茜	丸山
藤井 大翔	3. 12	男	智次	花岡西
今村 結愛	3. 16	女	聖	湯浦南
小松 秀	3. 17	男	傑	上町
嶋田 壮史郎	3. 18	男	寛	本町

※本町窓口届け出た人で、承認を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課
秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H27. 3. 1～3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 23 件

氏名	死亡日	年齢	区
富崎 憲和	2. 28	67	乙千屋
松永 シズ子	3. 5	86	國見
出口 チエ子	3. 6	79	豊岡
平生 義秋	3. 6	69	福浦
田中 サトエ	3. 7	88	高岡南
塩井 フサノ	3. 8	107	塩浸
溝部 みさを	3. 8	66	市野瀬
橋本 諄	3. 8	91	湯浦南
井川 實光	3. 9	96	豊岡
山口 義秀	3. 14	79	花岡東
東 シズカ	3. 14	93	海浦 2
鬼塚 ミヨコ	3. 15	84	大岩一
朝倉 勝	3. 17	89	古石南
松田 ハルコ	3. 22	93	芦北
立村 巧	3. 26	86	湯浦北
山下 アツエ	3. 29	86	小田浦 2

※本町窓口届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。

町立保育所の歴史に幕 田浦、湯浦、大野保育所で閉所式

町立保育所の民営化に伴い、田浦、湯浦、大野の3保育所は3月で町立保育所としての歴史に幕を下ろしました。各保育所では、卒園式後に閉所式を行い、園児や職員が感謝を込めて歌を歌ったり、鍵の返納のセレモニーを行ったりしました。4月から運営を社会福祉法人に移管



田浦保育所閉所式で鍵と園旗の返納



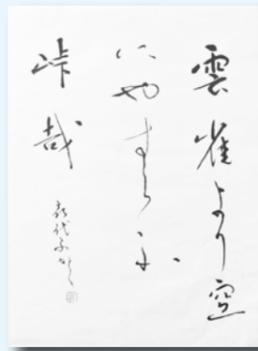
大野保育所閉所式で歌を歌う園児



湯浦保育所閉所式で鍵を返納する園児

田浦保育所 49年
湯浦保育所 47年
大野保育所 40年

書道 (かな)



内田喜代子

短歌

【田浦短歌会】

産土のかたえに植えし山桜グラウンドゴルフの憩いの場となれ
満田 圭一
桜咲く季を選びて逝きし夫桜の花のごとくに潔く
山下 忠子
年明けのみかん採集の手伝いは七十過ぎの嬸の三人
溝口 陵子
カーナビが助手席の吾に繰返すシートベルトの不着用をば
林 良子
吾や子にやりたいことをやれるだけせよと言いくれし
竹本ナミエ
夫愛しむなり

【芦北短歌会】

匂やかな河津桜に並びたら我が白梅は楚々とひらきぬ
古本 史子
定まらぬ陽気に鳥も戸惑うか一声のみの今朝のうぐいす
鳥居 静子
木の葉寄せ果づくり励む「つむぎ蟻」連携プレーの数々見せて
宮嶋 良子
陽だまりに土筆によつきり顔を出し幼は浅き春を手中に
米良 佑子
親しげに尉鶴近く寄り来れば吾は庭木となりて佇む
加来 道子

今月の絵手紙



山本 秀美

みんなの広場

皆さんからの情報を掲載します

- 第14回熊本マスターズ 駅伝で優勝しました。
- あしきた DE マルシェ 日時：4月26日(日) 10:00～16:00 場所：女島ゆめもやい 芦北・水俣を中心にハンドメイド作家さんたちの素敵な作品が勢ぞろい。カンボジア学校建設募金に協力します。(前回募金16,556円) あしきたatてしごと 佐藤



芦北マリンガールズ (芦北町陸上競技協会)

編集後記

町立保育所の卒園式と閉所式取材しました。名前を呼ばれると「はい」と大きな声で返事をして、きちんとした動きで保育証書を受け取る姿は本当に感心させられました。先生や両親に感謝の言葉を述べる卒園児。その成長した姿を見て親御さんのもとより式に出席していた誰も心が打たれたのではないのでしょうか。もう泣きそうになりカメラのファインダーを覗いて必死に涙を我慢していました。わが子の卒園のときが心配です。(上野)

もう散ってしまいましたね、今年も桜がきれいでしたね。年々、桜がきれいだなと思ったり、見とれたりすることが多くなりました。私が年を重ねたからでしょうか(笑)▼春は出会いと別れの季節といいますが、この度の人事異動により、3年間担当した広報の仕事は離れることになりました。防災行政無線の放送では「聞きやすく」、広報紙の編集では「見やすく」ということを心掛けてきましたが、お聞き苦しかったかと思えます。放送を聞いてくださっていた皆さん、広報紙を見てくださっていた皆さん、本当にありがとうございました。今後とも、防災行政無線放送と広報あしきたをよろしく願います。防災行政無線や広報紙を通しての住民の皆さんとのつながりがなくなるのは寂しいですが、新たな部署でまた新しいつながり方ができるのだと思うと楽しみでもあります。

▼新年度、新たな環境での生活がスタートした人も、そうでない人も、元気に頑張ってくださいませよ！(かまち)

5校目の校舎建設へ

町と国際交流協会が取り組んでいるカンボジア学校建設募金の総額が730万円に達し、5校目となる校舎建設が決定しました。

建設地はカンボジア東部にあるクナーチチュン小学校です。現在の校舎は木造トタン屋根の1棟2教室で、床と片側の壁がなく雨が降ると水浸しになる非常に粗末な造りです。新たに建設する校舎は鉄筋造りの1棟3教室とトイレで、5月に着工し9月ごろの完成を目指しています。12月には派遣団を編成し贈呈式を行う予定です。



現在のクナーチチュン小学校



クナーチチュン小学校

生徒数：170人
(4クラス、2部制)
教員：2人 教室：2室
トイレ：なし
井戸：1基

現在の校舎は2007年に建てられたが、粗末な作りに加え、シロアリ被害などにより倒壊の危険が高い。教室が足りず1年生から4年生までしか受けられない不完全校となっている。備品は無く、机やイスは生徒たちが持ち寄り授業を受けている。



2月3日
湯浦小の皆さん



2月5日
大野小の皆さん



3月23日
内野小の皆さん

皆さんの善意がカンボジアに届けられます。

2月から3月にかけて、各小中学校などの取り組みによって集められた募金が町国際交流協会長の竹崎町長に手渡されました。皆さんの善意は5校目建設の資金として大切に使われます。



3月26日 田浦中の皆さん



佐敷小チャリティバザーの様子
3月11日募金の贈呈がありました



3月17日
八代清流高校の皆さん

芦北町立 美術館だより

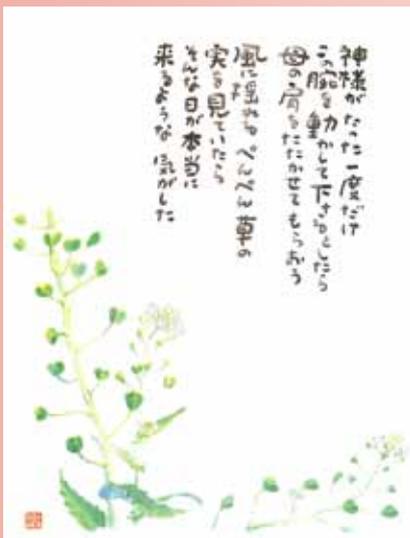
5月12日から開催

「花のきらいな人なんか」展

平成27年度の展示が、いよいよ始まります。お陰様で美術館は5月で開館9周年を迎えます。

今年約2カ月に1回展示内容が替わります。各展示ごとにテーマを設けており、さまざまな視点から富弘さんの魅力や「生きる」ことの大切さを伝えていきたいと思っています。

「花のきらいな人なんかいねえよ※」を合言葉に頑張りますので、ぜひお越しください！(学芸員)
※「はななら」(1990年)より抜粋



▶「べんべん草」1979年

*問い合わせ先

星野富弘美術館 ☎(86) 1600

○休館日 第2・4月曜日(祝日除く)

○開館時間 午前9時～午後5時